

【公報種別】 特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】 第 1 部門第 2 区分
 【発行日】 平成 19 年 4 月 26 日 (2007.4.26)

【公開番号】 特開 2002-85703 (P2002-85703A)
 【公開日】 平成 14 年 3 月 26 日 (2002.3.26)
 【出願番号】 特願 2000-274967 (P2000-274967)
 【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】
 【提出日】 平成 19 年 3 月 12 日 (2007.3.12)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】 明細書
 【補正対象項目名】 特許請求の範囲
 【補正方法】 変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】

【請求項 1】 少なくとも第 1 図柄列及び第 2 図柄列を表示するための表示装置と、
 遊技者の操作に応じて変化する遊技状況を検出する遊技状況検出手段と、
 前記遊技状況検出手段の検出結果に応じて抽選を行う抽選手段と、
 前記抽選手段の抽選結果に基づき、少なくとも前記両図柄列を非同期で、かつ図柄の識別困難な速度で、前記表示装置にて変動表示させる高速変動表示実行手段と、
 前記高速変動表示実行手段による高速変動表示の後に、前記両図柄列の変動速度を低下させる減速変動表示実行手段と、
 前記減速変動表示実行手段により減速された前記両図柄列の変動表示を、互いに同一の図柄で同時に停止させる変動表示停止手段と、
 前記変動表示停止手段による変動停止に応じてリーチ遊技状態を発生させるリーチ遊技状態発生手段と
 を備える遊技機において、
 前記減速変動表示実行手段は、前記第 1 図柄列及び前記第 2 図柄列の各変動速度を、互いに異なる減速パターンで低下させるものであることを特徴とする遊技機。

【請求項 2】 前記減速変動表示実行手段による前記両図柄列の変動速度として、前記高速変動表示実行手段による速度と、前記変動表示停止手段による停止との間の中間速度が複数種類設定されており、

前記減速変動表示実行手段は、前記両図柄列の変動速度を、少なくとも 1 つの前記中間速度を経て段階的に減速させるものであることを特徴とする請求項 1 に記載の遊技機。

【請求項 3】 前記減速変動表示実行手段は、前記両図柄列の減速パターンに関し、経由する中間速度の数を異ならせることを特徴とする請求項 2 に記載の遊技機。